

今年のオンライン展示一覧

障害の原因究明に関する研究

- 言語の脳メカニズムの研究
- 網膜の変性と再生に関する研究
- 聴覚障害の病態解明に関する研究
- 生体へのメカニカルストレスに関する研究
- 損傷脊髄の機能回復をめざした基礎研究
- 再生医療と連動した脊髄損傷者のリハビリテーションの取り組み



障害特性理解のための計測技術の開発

- 発達障害者の顔・身体認知の特徴を明らかにするための研究
- 機械学習を用いた意思伝達支援 – 母音口形認識と視線方向の検出 –
- 頸髄損傷者の夏場の高体温を予防するアプリの開発
- 車椅子利用者の座位姿勢の定量的評価に関する研究
- 障害者の身体表面に加わるせん断力を測定するセンサ
- 二次障害としての褥瘡を予防する
 - ・シーティングクリニックでの継続支援に関する研究

各研究部の紹介

研究所

脳機能系障害研究部

運動機能系障害研究部

感覚機能系障害研究部

福祉機器開発部

障害工学研究部

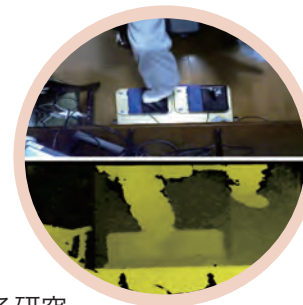
障害福祉研究部

義肢装具技術研究部

当研究所は7つの研究部から構成されています。それぞれの部ですめられている主な研究について、2分間の動画で紹介致します。一部の研究については、PDFとテキストファイルでの説明もあります。

新しいリハビリテーション技術の開発

- 発達障害者における聴覚の問題を軽減するための支援デバイスの研究開発
- 脊髄損傷者用カーボン長下肢装具の開発
- 立位姿勢を改善させるリハビリテーション装置の開発
- 身体に調和する新しい義手の開発
- 半側空間無視の病態解明とリハビリテーション手法の開発



障害者支援と環境構築

- 発達障害がある人の働くことの支援
- 障害のある子どもとその家族に配慮した住環境整備に関する研究
- 幼児の吃音に関する研究
- 成人吃音の社交不安の特徴
- 軽度認知症高齢者を支える福祉機器の開発と臨床評価
- 伊豆市における生活支援ロボットの有用性に関する社会実験
- 独居高齢者の自立促進に向けた生活支援ロボットの有用性
- ロボットを通じた遠隔社会参加体験の質の向上のための要素技術開発
- 重度運動機能障害者を支援するジェスチャ認識インタフェース
- 身体障害がある人の衣服の課題
- 2分でわかる義肢装具技術研究部

障害者施策・ガイドライン

- 障害者の災害対策チェックキット「自分でつくる安心防災帳」
- ICFに基づく支援機器の包括的な理解
 - 支援機器の適切な選定及び導入運用に向けたガイドライン作成のための研究 –
- 義肢装具の試験評価
- 補装具の価格のはなし

<オープンハウス2020事務局・問い合わせ先>

国立障害者リハビリテーションセンター研究所オープンハウス2020事務局

〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1

TEL: 04-2995-3100 (内線 2571) FAX: 04-2995-3132

MAIL: openhouse@rehab.go.jp